

平成21年 6月 1日
午前10時05分 受領

平成21年 6月 1日

福島町議会議長 溝部幸基様

福島町議会議員 1番 佐藤卓也 ㊟

一般質問通告書

平成21年度福島町議会定例会6月会議において、次の件について質問したいので、会議条例第63条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
観光協会に専属の職員を	<p>ちょうど1年前の6月会議のときにも同じ質問をさせていただきました。その際町長は勘違いをされ、役場庁舎内には観光担当者を置かないと話されていましたが、私が言いたかったのは、観光協会に専属の職員を置いて欲しいというものでした。</p> <p>福島町の観光協会は商工会から独立してはいますが、商工会の職員が掛け持ちをしていて、専属の職員はいません。内容も3大イベントの請負だけになっています。町長は、昨年6月に「広域連携の見通しがついたら観光協会が中心となって人的な確保をしていく」「観光のリーダーを育て、民間支援の体制づくりをする」と答弁されました。しかし、職員削減の可能性もあり、現在のままでいけば3大イベントも難しい状態になるのではないのでしょうか。来年12月には新青森駅が、6年後は新函館駅が開業します。そういった中で昨年から今年にかけて商工会、観光協会とどのような協議をしたのかお尋ねします。</p> <p>参考例ですが、奥尻町観光協会は4月に『ふるさと雇用再生特別交付金』を使って職員を3名雇い商工会から独立しました。福島町の平成21年度の観光客の目標を10万人に掲げているのでしたら、そういった体制を作らなければいけないのではないのでしょうか。町長の所信をお伺いいたします。</p>	町長

注) 1 質問の要旨は、簡潔明瞭に記載すること。なお、記載外については、質問できません。

2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>農業を町の柱に</p>	<p>農業の現状は高齢化に伴う農家戸数の減少や後継者不足など課題が数多くあります。そのためか、第4次福島町総合開発計画には農業の項目に事業費が計上されていません。</p> <p>とはいえ、福島町の将来を考える上で漁業だけでなく農業分野にも力を入れなければいけないと思います。</p> <p>行政報告にもありました黒米（夢むらさき）の試験栽培他、ブルーベリー、ヤーコンの栽培をやられているのは知っていますが、青森県では薬や化粧品の原料になる薬草の栽培に取り組むとの新聞報道がありました。福島町も、薬草にも適している土地柄だと思います。これまで医薬品メーカーなどからの問い合わせはなかったのでしょうか。</p> <p>また、農業を始めたい新規就農者でも安定した収入を得られるよう、奨励金・助成金、制度資金の利子補給等を交付するなどの条例を作ることも可能だと思います。そういったフォローはしているのでしょうか。</p> <p>これ以上農業を衰退させないために、せめて(1)じゃがいもや長ネギ、ニンジンなどの地場食材を給食用に100%調達するとか、(2)農機具やビニールハウス、しいたけの原木などに対し、資金や設備面で大胆な支援をするなどして底支えをしてもいいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>総合計画の基本目標には、『農業経営の安定化を図ります』『耕作放棄地の利用促進と適正管理に努めながら農業生産の推進に努めていくとともに、農地の整除化を進め農業振興地域の見直しを図ります』と掲げてあります。前期4年間でこの目標が達成されたのかどうか、そして後期総合開発計画もこれまで同様なのか伺いたします。</p>	<p>町長</p>